

運輸部



平成20年9月1日から、「西原町乗合タクシー・バス運行実証実験」が実施されています。この実験は、平成20年度公共交通活性化総合プログラムを活用し、西原町池田・小波津地域と西原マリントアウン内の西原町地区の住民の公共交通の確保方を調査検討することを目的とし、ジャンボタクシーと小型バスにより、西原マリントアウンから役場、商業施設、小波津団地、池

中城湾港マリントプロジェクトの西原町地区も、住宅建設が開始された平成15年以来、西原マリントアウン内に新しい街が誕生しつつある一方、現在のバス路線は住民の通勤・通学や通院などの日常生活の移動には不十分

なものでした。このため、西原町は、平成19年度公共交通活性化総合プログラムを活用した「西原町の公共交通空白地域における生活交通の確保方策調査」の結果を踏まえ、平成20年6月25日に「西原町地域公共交通会議」を設置し、同年7月30日に今回の運行実証実験の実施が決定されました。運輸部では、同会議での検討に積極的に参画し、道路運送法等の専門的知見を有する立場から、運行計画や運行ルートの設定など、様々な助言・指導、調整を行ってまいりました。今後は、同会議において、今回の実験での利用状況を踏まえて本格的な運行の検討が進められていくこととなっています。

Point

西原町では、平成20年9月1日から、西原マリントアウンとモノレール首里駅を約30分で結ぶ「西原町乗合タクシー・バス運行実証実験」を実施し、今後の地域住民の公共交通の確保方策を調査・検討していきます。

「西原町乗合タクシー・バス運行実証実験」実施中！



公共交通に関わるアンケートの概要

調査対象 / 西原町内の池田・小波津・兼久の3地域住民と、兼久地域周辺に位置する東崎工業団地就業者
調査日 / 《地域住民を対象としたアンケート》 平成19年11月1日(水)～平成19年11月30日(金)
《工業団地就業者を対象としたアンケート》 平成19年12月14日(金)～平成19年12月21日(金)
調査方法と回収状況 / 《地域住民を対象としたアンケート》 配布数: 2,746件、回収数: 729件、回収率: 26.5%
《工業団地就業者を対象としたアンケート》 配布数: 250件、回収数: 136件、回収率: 54.4%

主なアンケート結果

設問「日常の移動の中での問題点」での回答割合

通勤・通学の際の移動が不便である 高校生:81.3%、大学・専門学校生:60.0%、中学生:71.4%、小学生:61.9%
買物の際の移動が不便である 70歳以上:30.5%、60歳以上:26.0%

設問「新たな公共交通が導入された場合の利用意向」での回答数

自宅から停留所までの距離が近ければ利用したい 336件(1位)
利用運賃が既存のバスと同等程度(初乗140円)であれば利用したい 335件(2位)

設問「新たな公共交通が導入された場合の利用意向(目的地)」での回答数

モノレール首里駅 450件(1位) サンエー西原シティ 244件(2位) 西原町役場 81件(3位) 西原マリントアウン 77件(4位)